

# コミュニティ・スクール便り No. 2

南三陸町立伊里前小学校

2021. 6. 22 CS担当 山口

新年度が始まって3か月が経とうとしており、地域と連携を図った学習活動も進んできています。子供たちは、学校では学べない貴重なお話を聞いたり、体験をしたりすることで、地域のことをもっと知りたいという意欲を高めています。今回は、5年生と6年生の活動をご紹介します。

## 6年 総合的な学習の時間「歌津の歴史を知ろう」5/17実施〈学習支援部〉

「ふるさとの未来を考えよう」の学習で、小野寺寛さんから、6年生の知りたいことを中心に、南三陸町の産業や震災後のまちづくりについて話を聞きました。

「歌津で盛んな産業といえば？」と尋ねられると、「漁業」という答えが多く、海の町という印象が強かった子供たちでしたが、話を聞くにつれて、様々な産業が盛んであったことが分かりました。金の産業が盛んで、田束山付近では「本吉金」が採れたことや、林業も盛んで昔は肥料や燃料、木材としての需要が高かったこと、様々な産業が盛んであったことを知りました。さらに、漁業でも、冷蔵のできない時代には干物作りが盛んだったことや、のりの養殖が盛んだったことも教えていただきました。



## 5年 総合的な学習の時間「及新を見学しよう」5/31実施〈学習支援部〉

総合的な学習の時間「南三陸のよさと恵みを知ろう」の学習で、株式会社及新様の工場へ見学に行きました。子供たちは、メカブ加工の様子を見学したり、製品に込められた思いを聞いたりしました。工場の方と同じように、子供たちも工場に入る前には、手洗いと消毒をしたり、エアシャワーを浴びたりしました。工場の中では、タブレットを使って写真を撮ったり、メモを取ったりして学習を進めることができました。

活動の様子は、伊里前小学校ホームページでも公開していますので、ご覧いただければと思います。

